

日本機械学会東海学生会（平成23年度）

第2回顧問会議事録（案）

開催日時：平成23年11月26日（土）11:00～13:00

開催場所：名古屋大学工学部2号館 航空宇宙会議室（名古屋市千種区不老町）

出席者

	大学・高専名	氏名(敬称略)	出欠
○	愛知工科大学	椎名保顕	出席
	愛知工業大学	北川一敬	出席
	岐阜工業高等専門学校	小栗久和	出席
○	岐阜大学	服部敏雄	欠席
	静岡大学	藤井朋之(代理:吉田 始)	出席
○	静岡理工科大学	野崎孝志	出席
●	鈴鹿工業高等専門学校	打田正樹	出席
○	大同大学	小林正典	出席
	中部大学	吉田靖夫	出席
	豊田工業高等専門学校	林 伸和	出席
	豊田工業大学	川西通裕	欠席
	豊橋技術科学大学	関下信正	出席
	名古屋工業大学	松本健郎	出席
	名古屋大学	山田陽滋	出席
	沼津工業高等専門学校	小林隆志	出席
○	三重大学	中西栄徳	出席
	名城大学	アブラハ ペトロス	出席

	東海支部庶務幹事	巨 陽（名大）	出席
	東海支部運営委員	長田 孝二（名大）	出席
	東海学生会 担当幹事	末次正寛（鈴鹿高専）	出席
	東海学生会 担当商議員	野崎孝志（静岡理工科大）	（出席:併任）
	東海学生会委員長	森 雅史（鈴鹿高専）	出席
	東海学生会副委員長	大西悠揮（鈴鹿高専）	欠席

●委員長校 ○幹事校

（以上 19名）

議事

- 平成23年度第1回顧問会議議事録を確認し、特に下記の点について担当幹事から説明があった。
 - ・本年度より、卒研発表講演会登壇者資格が「学生員であること」に変更された。
 - ・催事等の周知用に、学生員のメーリングアドレス取得は可能かどうかを本部に問い合わせたところ、否であった。ただし、本部へ一旦内容を送り、その内容を本部から一括で配信してもらうことは可能である。
 - ・多額の繰越金は、本来「特定積立金」扱いにしないといけないが、支部と学生会で会計を分けている現状より、しばらくは従来のおり繰越処理で頼みたい（事務局より）。
 - ・入会還付金対象者の調査は、事務局から本部へ一括して問い合わせてもらえることとなった。
- 入会還付金について

対象者（4月から12月に登録、または手続き中の者）は本部へ一括して問い合わせるようになったので、従来の申請書は（基本的に）不要となる。また、本学生会17校以外の入会者についても何らかの方法で還付する。なお、この制度はこのまましばらく継続し、卒研発表会の登壇者資格が学生員となったこととの関連性等を調査する。

3. 平成24年度メカライフの世界展申請について
全12校の参加で総額 ¥670,000 を本部へ申請した。例年申請額の半分程度の助成となるため、本年と同様に学生会より充足金を足してはいかがか、という提案がなされた。本助成金は、平成24年3月ごろに支部へ送金される予定。
4. 平成23年度事業計画・日程 実施状況について
 - ・開催をお願いする企画 → 第184回講演会(名城大)、東海学生見学会(豊田工大)
 - ・報告書をお願いする企画 → 第185回講演会(豊技大)、第186回講演会(岐阜大)
第187回講演会(三重大)、東海学生見学会(愛知工業大)
 - ・メカライフの世界展の報告書をお願いする大学・高専
→ 愛知工業大、静岡大、鈴鹿高専、中部大、豊橋技科大、三重大
5. 平成23年度年次大会に併せて開催された第2回学生交流会の報告がなされた。
6. 平成23年度畠山杯争奪ボーリング大会の報告がなされた(参加校3校)。なお、本年は会場の事情や学生の要望によってボーリング大会としたが、来年からは従来のソフトボール大会へ戻すこととなった。また、時期についても今後柔軟に考えてはどうかとの意見が出された(現在は秋ごろに実施)。
8. 平成23年度の会計中間報告がなされた。
9. 第43回学生会卒業研究発表講演会について案内がなされた。
 - ・平成24年3月14日(水)名古屋工業大学にて開催(申込締切は平成23年12月2日)。
 - ・ワークショップ講:「災害現場における無人ヘリコプタの活用」、ヤマハ発動機株 鈴木弘人氏
「風力エネルギー利用における技術課題」、名古屋工業大学 長谷川 豊氏
 - ・本年から登壇者資格が学生会員に限定されることになった経緯について、担当幹事から説明があった。
 - ・原稿執筆方法(昨年度から講演論文集はCD-ROM)
 - ・表彰制度(Best Presentation Award)を今年も実施(賞状授与者はできれば支部長名を検討。否の場合は「担当幹事」をもう少しカッコいい名前にする)。
10. 平成24年度事業計画分担案について
 - ・来年度より新しい試みとして、「研究交流会(仮題)」を実施することとなった。主旨は「この会によって学生会員どうしが研究を通じて活発な交流ができるようにすること」である。担当校の負担が極力軽くなるような方法(例えばポスターセッション等)で、11月中旬あたりはどうか?という案が出された。また、これに伴ってこれまで年6回行っていた講演会を年5回へ減らし、その1校に担当いただくこととなった。
 - ・以上の件を踏まえた平成24年度分担案は、以下のとおり。
 - (1) 学生会担当幹事 → 野崎孝志 先生(静岡理工科大)
学生会担当商議員 → 古川裕之 先生(名城大学)
 - (2) 幹事校 → 静岡理工科大、名城大、豊橋技科大、岐阜高専、三重大、静岡大
 - (3) 講演会 → 大同大、愛知工業大、岐阜高専、鈴鹿高専、沼津高専
 - (4) 見学会 → 名城大、静岡大
 - (5) 畠山杯ソフトボール大会 → 名大
 - (6) 研究交流会(仮題) → 名大
11. 平成24年度実施方針・担当分担(案)について
 - ・講演会の回数変更等があるため、修正したものを再度送付することとなった。
12. 平成24年度各種行事分担要領(案)について確認された。
13. 平成24年度事業計画・日程(案)について
 - ・講演会の回数変更等があるため、修正したものを再度送付することとなった。
14. 平成24年度東海学生会ニュースレター原稿の担当について確認した。

以上